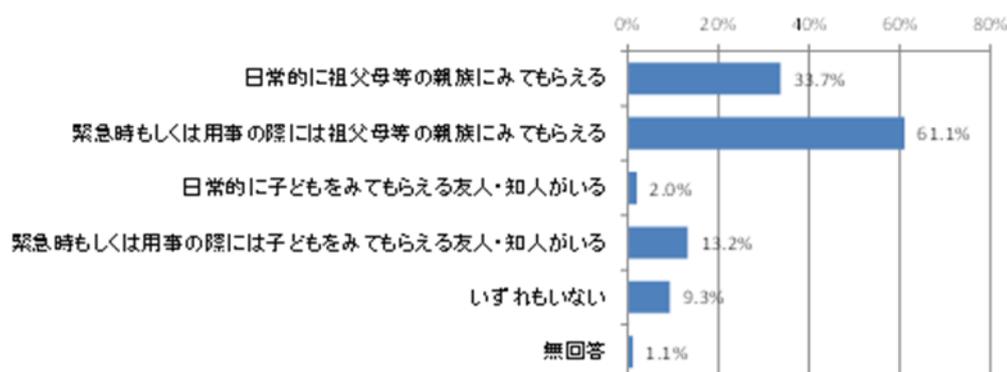


<3> アンケート調査結果の概要

① 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

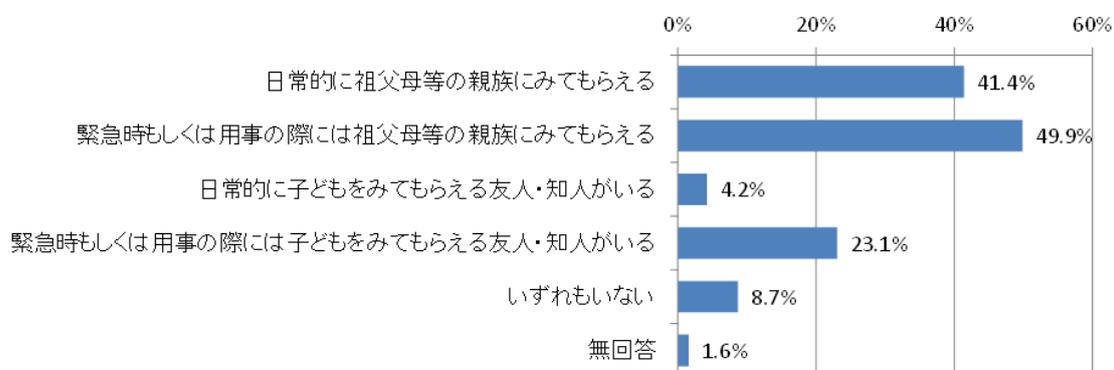
【就学前児童】

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.1%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 33.7%と続いています。



【小学生】

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 49.9%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 41.4%と続いています。



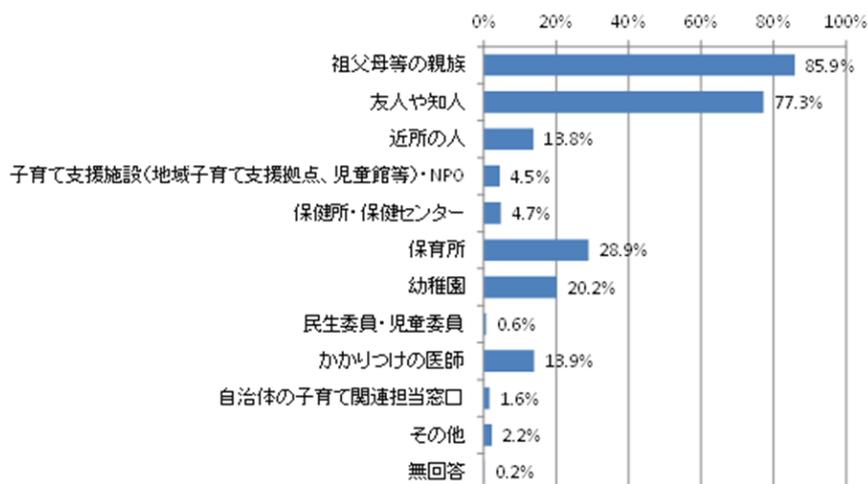
② 子育て（教育を含む）をする上での相談相手、相談場所の有無

	いる/ある	いない/ない	無回答
就学前児童	96.3%	2.9%	0.8%
小学生	94.0%	5.5%	0.5%

③ 相談相手や場所等はだれですか。(複数回答)

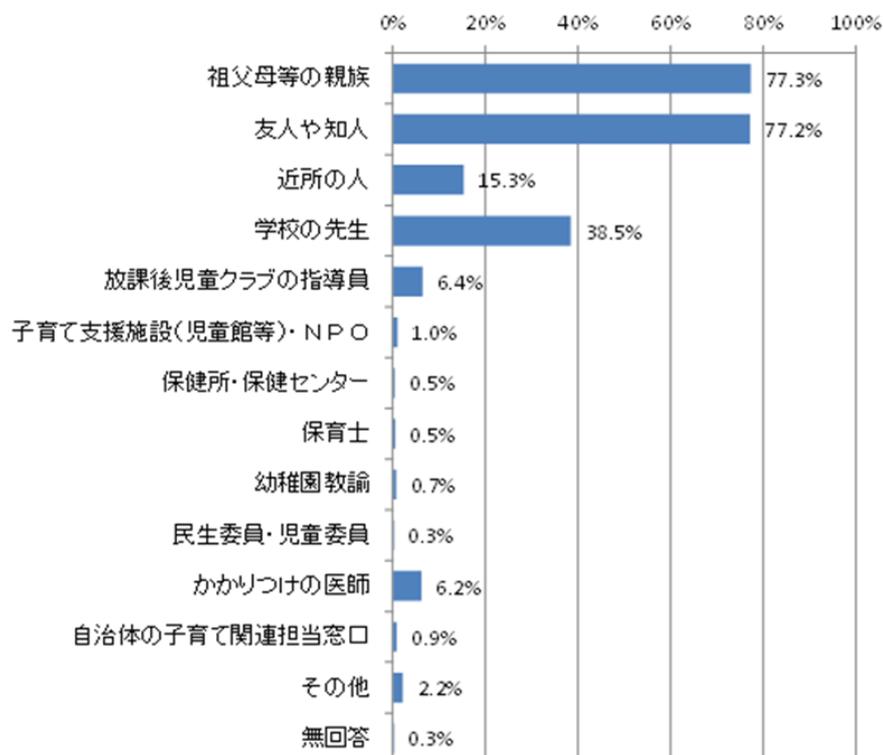
【就学前児童】

子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族(85.9%)」「友人や知人(77.3%)」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。



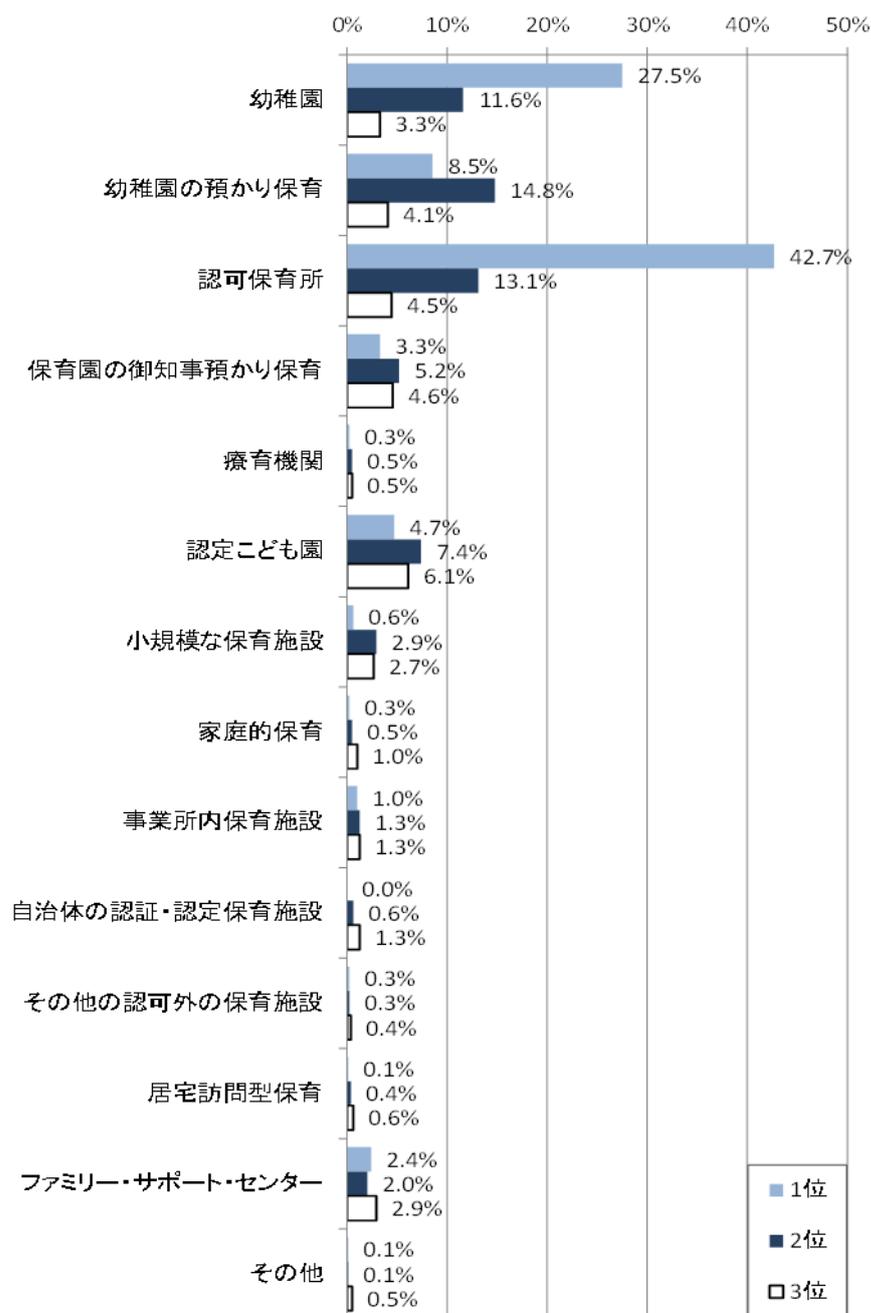
【小学生】

子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族(77.3%)」「友人や知人(77.2%)」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。



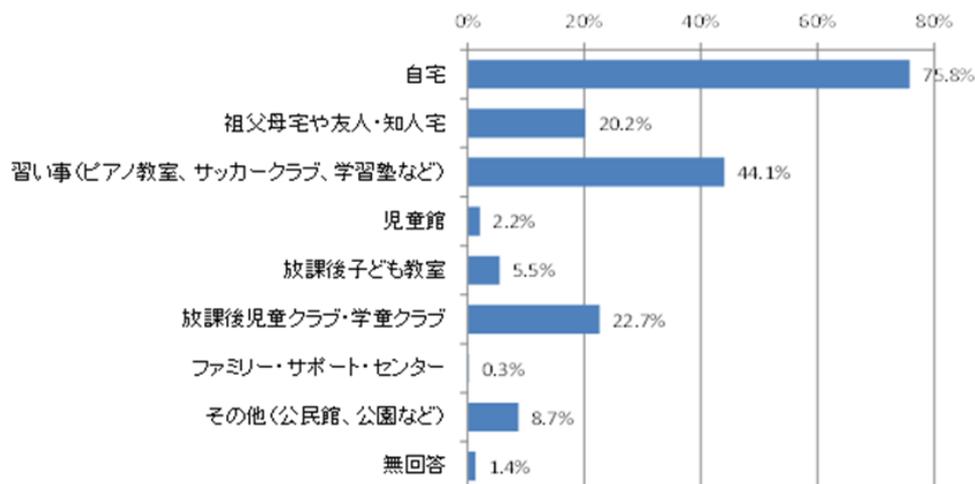
④ 今後利用したい事業 【就学前児童】

平日の教育・保育の事業の今後利用したい希望事業を順位付けすると、1位が「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が42.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が27.5%となっています。（無回答は除く）



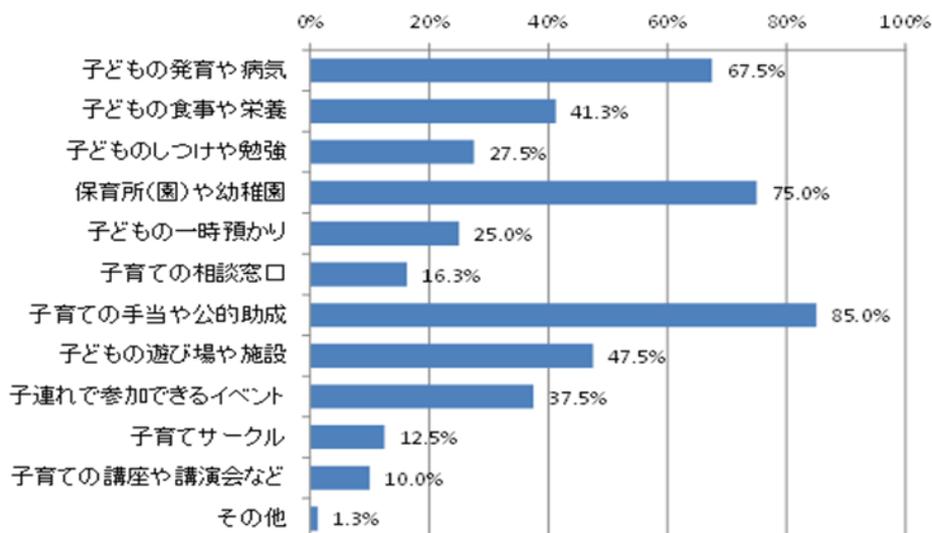
⑤ 放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方。また、希望する場所（複数回答）
【小学生】

子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が75.8%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も44.1%と高くなっています。また、「放課後児童クラブ・学童クラブ」の割合も22.7%となっています。



⑥ 子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。（複数回答）
【妊婦】

子育ての情報については、「子育ての手当や公的助成」が85.0%と最も高く、「保育所（園）や幼稚園」が75.0%、「子どもの発育や病気」が67.5%と続いています。



⑦ 自由意見による必要なサポート

(1) 就学前児童

保護者の求めているサポートとしては、第1位は「一時預かり」で、約20%を占めており、量の見込みの数値と比較しても多くなっています。ただし、内訳については、「病気時などの緊急性」「リフレッシュ」の理由のほか、既存施設の金額負担や利用時間など多種多様な意見があります。

次に多かったのは、「悩み・相談」が約13%あり、「気軽に相談できる環境」、「病気時など緊急への対応」などです。特に、子育てする親同士の交流などの相談もあります。

次に「全体的な支援策」「地域（イベント）」「保育園」などが続きますが、少数意見も内容を精査し、計画に反映させました。

(2) 小学生

小学生の保護者が求めているサポートとしては、就学前児童と同じく「一時預かり」が約13%あり、緊急時に預かってもらえる施設などのサポートを求めています。

次に「悩み・相談」も約13%あり、気軽な相談や病気などの専門的な相談を求めています。

また、学童保育への意見も多数あり、長期休暇への対応や料金の減額などのサポートの声があるほか、「量の見込み」でもあるように高学年への対応を求めています。

(3) 妊婦

妊婦の求めるサポートについては、情報提供が約3割を占め、正確な情報の提供を求めています

※主な意見は資料編を参照